

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ニッポン高度紙工業株式会社

コード番号 3891 URL <http://www.kodoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鎮西 正一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 溝渕 泰司

TEL 088-894-2321

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,519	8.1	391	41.2	383	2.5	262	60.0
26年3月期第1四半期	3,255	13.5	277	△4.6	374	57.6	163	325.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 268百万円 (△2.8%) 26年3月期第1四半期 276百万円 (209.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	24.38	—
26年3月期第1四半期	15.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	24,884	13,476	54.2
26年3月期	24,564	13,304	54.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,476百万円 26年3月期 13,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,440	△0.1	320	△13.0	300	△34.3	210	△6.1	19.52
通期	13,200	5.3	700	92.1	660	26.9	450	86.8	41.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	10,953,582 株	26年3月期	10,953,582 株
27年3月期1Q	196,361 株	26年3月期	196,361 株
27年3月期1Q	10,757,221 株	26年3月期1Q	10,757,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国において回復基調が続き、懸念されていた欧州および中国経済においても弱含みながら改善の兆しが見受けられ、全体として先進国を中心に緩やかな回復傾向を維持いたしました。

また、わが国経済においても、消費税増税前の駆け込み需要の反動減による一時的な景気減速はありましたが、アベノミクス効果による公共事業や個人消費の下支えがあったことなどから、回復傾向を維持いたしました。

当社グループの関連市場であるエレクトロニクス業界につきましては、白物家電、スマートフォン、太陽光発電および産業用インバータ関連などが堅調に推移し、カーエレクトロニクス市場における需要も引き続き拡大いたしました。

セパレータ事業では、車載向けや風力・太陽光発電などの新エネルギー市場、産業機器、エアコン、白物家電向け市場などが堅調を維持するとともに、長らく低迷していたPCの需要に回復の兆しが見受けられるなど新たな動きもありました。なかでも、省エネ型車両などに使用される電気二重層キャパシタおよびリチウムイオン電池向けなどの電池用セパレータは市場の拡大にともない好調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,519百万円（前年同四半期比263百万円、8.1%増）の実績となりました。

利益面につきましては、主力のセパレータ事業の売上が堅調に推移し、工場の稼働率が向上したことなどから、営業利益は391百万円（前年同四半期比114百万円、41.2%増）、経常利益は383百万円（前年同四半期比9百万円、2.5%増）、四半期純利益は262百万円（前年同四半期比98百万円、60.0%増）となり、期初予想のペースを上回る結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の主要事業の状況につきましては、次のとおりであります。

#### [セパレータ事業]

セパレータ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,515百万円（前年同四半期比380百万円、12.1%増）、営業利益は472百万円（前年同四半期比160百万円、51.4%増）の実績となりました。

##### ・コンデンサ用セパレータ

車載およびPC用などの低圧品向けの受注増に加え、太陽光発電、エアコンなどのインバータおよび白物家電用などの中高圧品向けが堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,780百万円（前年同四半期比205百万円、8.0%増）の実績となりました。

##### ・電池用セパレータ

省エネ型車両などに使用される電気二重層キャパシタ向けおよび省エネ型車両や定置蓄電用などに使用される大型リチウムイオン電池向けの受注が市場の拡大にともない好調に推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は735百万円（前年同四半期比174百万円、31.1%増）の実績となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産の減価償却実施等がありましたが、売上債権の増加、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ320百万円増加し、24,884百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金の約定返済等がありましたが、仕入債務の増加、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、11,408百万円となりました。

また、純資産は、前期決算に係る利益配当等があるものの、四半期純利益262百万円を計上したことによる利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、13,476百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日付「平成26年3月期 決算短信」において公表いたしました連結業績予想を修正しておりません。なお、今後様々な要因によって連結業績予想を修正する必要がある場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、セグメント情報に与える影響もありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,498,443	1,440,885
受取手形及び売掛金	3,487,394	3,933,554
商品及び製品	1,527,147	1,517,845
仕掛品	6,320	—
原材料及び貯蔵品	2,463,098	2,547,895
繰延税金資産	148,200	78,343
その他	113,450	257,850
貸倒引当金	△6,958	△7,751
流動資産合計	9,237,097	9,768,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,880,660	3,798,124
機械装置及び運搬具(純額)	6,899,233	6,625,357
土地	2,161,745	2,113,973
建設仮勘定	554,375	750,519
その他(純額)	319,439	311,816
有形固定資産合計	13,815,453	13,599,791
無形固定資産	30,471	28,306
投資その他の資産		
投資有価証券	419,726	426,934
繰延税金資産	668,308	666,447
その他	414,489	415,709
貸倒引当金	△21,000	△21,000
投資その他の資産合計	1,481,524	1,488,091
固定資産合計	15,327,448	15,116,189
資産合計	24,564,545	24,884,812

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	685,145	808,663
短期借入金	1,622,424	1,893,566
1年内返済予定の長期借入金	1,908,480	1,943,580
未払金	806,368	880,072
未払法人税等	112,921	62,023
賞与引当金	—	89,800
設備関係支払手形	1,789	4,698
設備関係未払金	303,763	322,601
その他	612,541	371,564
流動負債合計	6,053,434	6,376,571
固定負債		
長期借入金	3,920,066	3,755,071
繰延税金負債	22,983	19,964
役員退職慰労引当金	239,100	241,742
退職給付に係る負債	1,024,353	1,015,278
固定負債合計	5,206,502	5,032,056
負債合計	11,259,937	11,408,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,241,749	2,241,749
資本剰余金	3,942,363	3,942,363
利益剰余金	7,491,721	7,657,154
自己株式	△165,363	△165,363
株主資本合計	13,510,471	13,675,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,274	35,164
為替換算調整勘定	44,279	34,240
退職給付に係る調整累計額	△278,416	△269,125
その他の包括利益累計額合計	△205,863	△199,720
純資産合計	13,304,608	13,476,184
負債純資産合計	24,564,545	24,884,812

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,255,865	3,519,040
売上原価	2,547,659	2,698,256
売上総利益	708,206	820,784
販売費及び一般管理費	431,037	429,538
営業利益	277,168	391,245
営業外収益		
受取利息	931	757
受取配当金	3,219	3,235
為替差益	74,723	—
助成金収入	29,601	168
その他	3,852	1,832
営業外収益合計	112,327	5,994
営業外費用		
支払利息	10,784	8,269
為替差損	—	3,822
その他	4,539	1,685
営業外費用合計	15,324	13,777
経常利益	374,172	383,462
特別利益		
投資有価証券売却益	1,065	—
特別利益合計	1,065	—
特別損失		
投資有価証券評価損	94,475	—
特別損失合計	94,475	—
税金等調整前四半期純利益	280,763	383,462
法人税、住民税及び事業税	15,111	57,705
法人税等調整額	101,737	63,509
法人税等合計	116,849	121,214
少数株主損益調整前四半期純利益	163,914	262,247
四半期純利益	163,914	262,247

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,914	262,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,192	6,890
為替換算調整勘定	48,137	△10,038
退職給付に係る調整額	—	9,291
その他の包括利益合計	112,330	6,142
四半期包括利益	276,244	268,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,244	268,390
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	セパレータ事業		
売上高			
外部顧客への売上高	3,135,478	120,387	3,255,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,135,478	120,387	3,255,865
セグメント利益又はセグメント損失(△)	312,144	△2,697	309,447

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、超薄型フレキシブル基板の販売、無機/有機ナノハイブリッド膜の製造等をおこなっております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	312,144
「その他」の区分の損失(△)	△2,697
全社費用(注)	△32,278
四半期連結損益計算書の営業利益	277,168

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	セパレータ事業		
売上高			
外部顧客への売上高	3,515,987	3,053	3,519,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,515,987	3,053	3,519,040
セグメント利益又はセグメント損失(△)	472,435	△38,336	434,099

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソクシール(耐熱性接着剤、カバーレイインク)、無機/有機ナノハイブリッド膜の製造等をおこなっております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	472,435
「その他」の区分の損失(△)	△38,336
全社費用(注)	△42,853
四半期連結損益計算書の営業利益	391,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。